

審 議 会 等 の 会 議 の 開 催 結 果

会議の名称	令和2年度 第2回加東市立図書館協議会
開催日時	令和3年3月11日(火) 18時00分から19時30分まで
開催場所	加東市中央図書館 会議室(2階)
<p>◇協議事項</p> <p>(1) 令和2年度 図書館活動報告について 説明：館長 会議資料、各館副課長 会議資料</p> <p>(2) 令和3年度事業計画について 説明：館長 会議資料</p> <p>(3) その他 説明：館長 令和3年度休館日カレンダー</p> <p>◇協議の概要</p> <p>(1) 令和2年度 図書館活動報告について</p> <p>議長： 今の説明に対してご意見やご質問がありましたら、お願いします。</p> <p>委員： 「ひとはこ図書館」について、もう少し詳しく教えてください。</p> <p>事務局： 滝野図書館の(資料の)右側のものがポスターなのですが、その左下にあるのが棚の写真です。元々は図書・情報センターで使っていた雑誌架だったのですが、縦3個横6個の18個の箱になっていて、横2つを一組分として貸し出しをしています。展示の期間は、一応1か月ということで設定していますが、今のところ利用が少ないので、ご希望があれば横一列使っていただいてもいいです。</p> <p>議長： 貸し出しというと、図書館の本ですか。自分の本ですか。</p> <p>事務局： 図書館の本を選んで並べてもらっています。</p> <p>議長： そうして、読んでもらいたいという本を並べるのですね。</p> <p>事務局： そうです。ご紹介させていただいている左の写真のところに、2歳男児子育て夫婦おすすめ本というように名前を付けていただいています。ご参加いただいた方に、それぞれいろいろな工夫をしていただいて、自由に名前をつけていただいたり、飾りたい飾りをつけていただいたりしています。おすすめの本ということで、おうちの本を持ってきたいと思われる方もあるかもしれませんが、その場合に無くなったりとか、こちらで管理ができかねるので、基本的には図書館の本で、滝野以外の中央図書館や東条図書館の本でもかまわないということで、展示をしていただいています。</p> <p>委員： 東条図書館で借りて、滝野図書館に持って行ってということが可能なのですね。</p>	

事務局： はい。滝野にない本を紹介をしたいということであれば、取り寄せを依頼していただいても大丈夫です。

委員： 貸し出しは、この中の読みたいなという本を選んで借りて帰るのですか？全部借りられるのですか。ひとはこから1冊ですか？

事務局： 今は30冊借りてもらえるので、この中の本を全部借りたいということであれば、お断りはしないです。

議長： これも以前の図書館協議会で、スポーツのことに絡めてロッカーの事を言われていたので、それで考えていただけたのだと思って拝見しました。今は申し出がないので、図書館の者が並べています。という張り紙がしてありましたが、私ならば何をするかと、思って考えてみました。一つ思っているのは大文字の本がありますよね、隅っこの方に。高齢者が多いので、「大文字の本がありますよ。読みやすいですよ。」というような展示を、私だったらするかと思いました。なかなか良いアイデアと思います。

委員： この本は、この棚にある時はここに返るようにブック登録とかされているのですか？

事務局： 所在の場所を「展示」に変えています。

委員： ここにある期間だけは、ここに返るように位置付けをされているのですね。

事務局： はい、そうですね。

委員： この「ひとはこ図書館」で展示してあるのは、うちの家族です。これが始まった時には、これは委員さんが（以前の図書館協議会で）言われていたあれだなと思ひまして参加しました。ただ僕は色々選ぶのがめんどくさいと思ったのですが、妻がテーマとか色々飾りつけも考えてやってくれて、ちょうどうちが2歳の男の子が好きな本とか、お父さんお母さんの子育て関係の本を並べたのですが、ひとつひとつ推薦文を書かなくてよく、気になった本を入れていけるので、やりやすいかなと感じました。

議長： 実行していただいて、ありがたいです。何回か私が行った時は、もうそれが撤去されていたので、全然拝見することが出来なかったのです。いつ頃ですか。

委員： あれ、今まだやっていますね。

事務局： そうですね。まだあります。

委員： 2月の半ばから、本を入れたので。

事務局： もう少し、見ていただけます。

議長： そうすれば、まだもう少しはありますね。

委員： これって、期間は決まっていますか。

事務局： 一応、1か月と決めまして、次お待ちの方に1か月で代わっていただくという方法でやろうとしていたのですが、まだ申し込みがないので2ヶ月していただいてもかまわないと思います。

委員： 中を変えるということですね。

事務局： そうですね。

議長： ありがとうございます。他、ございませんか？

委員： ひとつよろしいですか。村で農業をしている70代のじいさまたちが、孫にこれはすすめたら良いなという本は何か？と聞いてみれば、多かったのが、『十五少年漂流記』でした。私は小学校の時に読ませてもらったのですが、今でも覚えているので、良い本だなと思います。

そして、もうひとつ。私の先輩で93歳の方が、脳トレで五七五を作られて川柳なのか俳句なのか、どちらにもはいるモノを作られていて、1日1句の人と、1日7句1か月で200句作る方がいます。その一番元気な方が1か月に200句川柳を作る大先輩で、滝野苑へ行ってボランティアで五七五を、集まって居られる人とみんなで一つの句を作りましょうという活動をされています。その時思ったのが、最初は戸惑って居られてもみんなで話をして、一曲「赤とんぼ」や「ふるさと」を歌ったあと、頭が働くときに、そういうように五七五を作ったらいいのではないかと。そういうことをいつ始めてもいい訳だから、「始めませんか？」というコーナーを作ってはと今思いつきました。なので、『十五少年漂流記』と川柳を新しい方に、勧められたらいいなと思います。

議長： 『サラリーマン川柳』は、滝野図書館に所蔵されているので、サラリーマンとか別のシリーズも、俳句・川柳・短歌のあたりの本を委員が、コーナーに並べられたらいいかもしれませんね。

委員： 趣味で色々やれば、人間は元気になるという話で、私の周りで面白いおばあさんが居るのですが、昔取った杵柄で、絵なのか貼り絵なのかかわからないが、こういう物を作られているのです。本人は気にいっているのですが、これを作った方は何歳やと思われませんか？大正5年生まれ。元気でしょ。

議長： 結局は、きっかけを作るということですよ。楽しい本を読むきっかけをそのコーナーを活用して、私たちに出来ることは意見を出すことと、委員さんのように実行するということでしょうか。

他、ございませんか。

委員： 各図書館からのお話は、みんな子どもさん向けばかりですよ。先程言われたように高齢者向けに、何かされていることはあるのでしょうか。大きな字の

コーナーはすごくいいなと思ったのですが、何かされていますか？みんな子どもたちむけばかりなので、何かないかな、と思ひまして。

もし私が動けなくなったら、本をデリバリーをして欲しいと思っています。案外家から近いのであれですけど、そういうサービスも考えてもらいたいなと思っています。今、何かのサービスをされていますか。

事務局： 今、各館で大活字の本のコーナーを作っているぐらいですかね。

議長： あれをPRすれば、いいかもしれませんね。1冊の本が3冊分ぐらいのページ数になるのです。活字が大きいので、たくさんの本を読んだ気分になれるのです。普通ならば1冊なのに、大活字の本ならば今日は丸々1冊読んだという感覚で私は今、それを専門に借りているのです。目がすごく楽なので、以前も借りたことはあるのですが、一つの藤沢周平という人の単行本が、上中下にわかれていますので、1日1冊が軽く読めるので、こういうことを紹介すればいいのかなと思います。

委員： そうなのは、どこにあるのですか？滝野だけですか？

事務局： 東条でしたら、CDの裏にあります。

委員： 一冊でも、達成感がありますね。

議長： ありますよ。今日も6冊返したのですが、字が大きいから読みやすいので、あっという間に読めてしまいます。ルビも見やすいのでお勧めです。

委員： また、少し考えてみます。

議長： 他、ございませんか。

委員： 東条図書館のぬりえですが、僕がパワーリフティングの大会をする時に、子どもらに来てもらうことでスポーツの繋がりが生まれると思って、丹波は恐竜が有名なので、恐竜のぬりえを作って、教育委員会の認可をとって小学校に、1000か2000か印刷して各学校に僕が自分で配布に行って、回収も自分で行って結果200枚ぐらい集まったのです。200枚を、ゆめタウンのショッピングセンターの中で、展示させてもらいました。大会会場もゆめタウンの中を借りたのですが、ふだんスポーツの大会だとスポーツだけに興味のある人が見に来るのに、ぬりえを少し塗っただけの子らも来てくれて、こんな事をしているのか？という繋がりが生まれるので、ぬりえはめちゃくちゃいいと思います。でも、たぶんこれ、刷った物を持って帰って、また持ってきてね！のやり方やと思うのです。

事務局： そうなんです。

委員： 僕の前の方だと、教育委員会の認可だけとると、小学校などに配布していいらしいので、配布するか、せつかく今日の様な委員会があるならば、持つ

てきてもらえれば、僕が勝手に配布して回収することもできるので、ぬりえを活用できればいいなと思います。

事務局： ありがとうございます。

委員： これ180枚まだ印刷が残っているのであれば・・・

事務局： 違うのです。印刷して無くなって、また印刷しての合計で180枚位印刷しましたということです。

委員： 持って帰ってもらったけれど、かえてきたのが3枚ですか。

事務局： 3枚です。

委員： なるほど。ありがとうございます。

議長： ありがとうございます。

委員： うちの会社でも、ベトナムの方などが就労で今すごく日本語の勉強をされているのですが、日本語学校も行かれています。図書館とかもすすめるけれど、行っても本がたくさんありすぎて、どこからどう見ればいいのかわからないとのことなので、日本語を勉強しようというコーナーがもしあれば、そこをおすすめ出来るのと思うのです。例えば、日本語の勉強のために簡単な大きい字の絵本だとか、日本の習慣などを勉強するためのコーナーがあったら、そこに行けばいいよとおすすめしやすいなと最近思っています。

事務局： 前回の協議会で言っていただいて、ベトナムの方向けだけではなく、外国人が日本語の勉強をするための本を図書館に入れさせてもらいました。

委員： そうするのは、それだけのコーナーを作ってもらえれば、図書館のそこにあるよと言いやすが、どこにあるかわからない状態では・・・

事務局： そうですね。分類がばらばらになっているので。

委員： そういう本のコーナーが、もしできればいいなと思っています。

委員： 国際交流協会ボランティアをしています。ボランティアの先生が、先日来られた時に、図書館にベトナム語の本が増えたよ、と言われていました。もし、そういうコーナーがあって紹介資料があれば、日本語教室で配ったりもできると思います。ここは韓国で、ここはベトナムコーナー、ここは何とかコーナーというように、国ごとに、少しずつでもコーナーにまとまっていれば、探しやすいのではないかなと思います。

議長： ありがとうございます。他、ございませんか？

委員： 雑誌で個人的にも入れて欲しいなと思うのが、自転車関係の雑誌が1つもないなと思って、加東市の観光協会などはサイクリングに力を入れているみたいなので、これを機に自転車の雑誌が欲しいなとちょっと思います。

議長： また、よろしくお願いたします。ご検討を。

委員： 今のお話で、希望の雑誌がない場合は、雑誌スポンサーとかで僕がお金を出すので毎月次のやつを入れてもらうことはできるのですか。今言われた、サイクリングの雑誌が年間購読を、個人ではなくて図書館に送らせるようにとかできるのですか。スポンサーではなくて・・・

事務局： 現状では、このリストの中から選んでくださいというようにお願いはしているのですが。

委員： 寄贈みたいな形なら、スポンサーとして行けるのではないかと思うのですが、できそうですか。

事務局： できるかと思います。

委員： ありがとうございます。

議長： 他、ございませんか？

委員： 私に何ができるかなと、さっきから考えていたのですが、都会と地方の差というか、都会は作者に直接会う機会が多くて、直接図書館に行って話もしますし、けれど、離れているとなかなか難しいですね。

児童文学になってしまうのですが、私のツテのある作家さんに新刊が出た時に、これに一言添えてくださいね、と頼んだらきっと言葉を送ってもらえると思うので、それをちょっとポップのように書いてもらったら、作者の言葉をそのまま直接、子どもたちに届けるという橋渡しはできるかな？と今考えました。

議長： ありがとうございます。次に行きたいと思います。

(2) 令和3年度事業計画について

説明： 館長 会議資料

委員： 本を選ぶ、ウェブサイトと書いてあるのは、文字だけが書いてあって選んで申し込むのですよね？ではなくて、写真で新刊のこういうやつが出ましたよという広告の様な写真がありますよね。こういう感じの写真を、テレビで流してもらって本をそのまま写真で見るといふか映像で見て、この本が欲しいなと字で選ぶのではなくて、字ではどんなのかな？というところを、なんとなく感覚的に写真の様な本が並んでいけば選びやすいのではないかと、字だとなんか想像しにくいといふか、新刊でこんな本がありますよ。という映像が流れていけば本の色など自分で選べるし、字で読んでこういう本があるのだなというよりも目の見える人はね、目で見た方が選びやすいかなと思います。新刊をこれだけ載せたらいい。

委員： 西脇の図書館のウェブサイトは、本の画像が見られる。

委員： そうなんですね。

委員： 加東のシステムでできるかわからないですけど。

事務局： 数年後に、図書館システムの更新の時期がきますので、その時には考えたいです。

委員： タイトルではなくて、例えば今は中の方に貼ってあるのですが、本の帯とかも一緒に載れば、内容とかもわかって選びやすいのではないかと、思うのですが開いた所に少し書いてある内容紹介の所も一緒に載っていれば、タイトルだけ見て、さらにこれ読みたいと思うと思うのですが、タイトルだけではわからない部分がだいぶあるので。

事務局： 現在でもウェブサイトを見ていただくと数行だけですが、記載しています。

委員： あれは、凄く助かります。どうしようかなと思った時に、あっこれは面白そうだなと思うので、そういうことがもっとわかりやすくあれば、余計に本の写真と一緒に帯の情報もついていれば、もっと視覚の方からも入りやすいのではないかなと思います。好きな人は字だけでも全部読めるのですが、ちょっと図書館にとっつきにくいと思う人は、画像から見た方が選びやすいなと思います。

議長： 他に、ご意見ありませんか。

委員： 高齢者施設に母が入っていて、頼まれて本を持って行ったことがあるのですが、まず文字ばかりの本は読まないですね。

綺麗な写真や絵のある「家庭画報」のような本のいらなくなった分を、施設に差し上げるということは、できないですか？

事務局： 市の関連施設から依頼された時に、選んでもらってお渡ししたことがあります。その他にいらなくなった雑誌などを各館でリサイクルしていますので、その時でしたら、ご自由に選んでお持ち帰りいただけます。

委員： 持って帰るのですが、施設の中に居る人は行けないですね。

事務局： 職員の方が、持って帰られたりします。

委員： それならいいですね。絵があるということは、本一冊で旅行に行ったり、美味しい物を食べたり、色々できますから、すごく夢があっていいと思うので、そういう本があればいいなと思いました。そうされているならばいいです。

議長： 雑誌は、何年くらい保存されるのですか。

事務局： その雑誌によって違うのですが、2年とか3年とかです。

議長： 1年分は、書棚の所に入っていますよね。

議長： 他に、ごさいませんか。それでは、次へ進みます。

(3) その他

説明： 館長 令和3年度休館日カレンダー

委員： 小学校なのですが、いつもこの会に出席させていただいてみなさんの話を伺っていると、整理の仕方や本の紹介の仕方など色々勉強になっています。ありがとうございます。小学校ではなかなか子どもたちが集まる場が作れないので、その中でどのように、本を紹介しようかな？ということを考えて取り組んできました。今年は、東条西小学校なのですが閉校に伴う図書館の引っ越し作業があつて、なかなか図書館も上手く運営できない中だったので、難しかったのですが、委員会の子たちと本の紹介はしたいね、と取り組みました

その中で、パワーポイントを使い、パソコンで画面を映してクイズを作ったり、紹介したい本などを作りました。パワーポイントにすると、スライドにして大きな画面に映せるので、みんなに一度に見てもらえるところが、良かったなと思います。集会などでソーシャルディスタンスをとっていても、みんな画面を見て一緒に理解ができる。そしてボタンを一つずつ押していけば画面がどんどん変わっていくように、クイズがつくれますのでそれが子どもひとりでも使おうと思えば、自分で操作して本の紹介もまたあとでゆっくり見ることができるのかなと思いました。

本の紹介については、例えば「シリーズ本でこんな本があるよ。」とか「同じ作者で違う本がこんなにあるよ。」「教科書に出てくる本がこんなにあるよ。」という感じで、色んなアプローチの仕方子どもたちひとりひとりが、自分の知っている本から繋がって興味を持てるような取り組みもしました。

給食の時間には、図書委員会の子が放送を使って、交代で好きな本を紹介しました。中には自分の好きなページを読んでみて、興味を誘うようにした子もいました。なかなか人が集まれない中で色んな紹介の仕方を子どもたちが考えていました。

私は、子どもが授業の中で興味を持った時にどの本を紹介できるかということにも、頑張ってみました。理科で生き物の勉強をしたら、こんな本があるよと並べるとか、星の勉強をすればこれから調べられるよとか、星などは特に家に帰って見てみないとダメだったので、この本を見たら楽しいよという形で、その場でその時に興味のある様な本の紹介の仕方も子どもたちにとっては効果的かなと思いました。紹介の仕方は、まだまだ考えたいなと思いつつ取り組みました。

議長： 図書委員だから特に責任感がでるでしょう。何か実践をしておかないとという思いで、加東市の読書教育を引っ張ってってください。きっかけがあると子どもたちは、どんどん楽しく読んで、競争して読むようになると思いますね。いろいろな紹介、ありがとうございました。

他に何かこの際、言っておきたいということがありましたらどうぞ。図書館の方からはいかがでしょう。

事務局： 4月5月は入館制限をしていたのでしてなかったのですが、6月から3月まで、毎月各館で興味を持ってもらえる特集をしている写真なのですが、このような感じで特集をして、図書館の検索機でも見られるようにしました。字が小さくて申し訳ないのですが、こちらも紹介させていただきます。

議長： 楽しい環境を作ってください、本当にありがとうございます。

「本との出会いをサポートするために」と書いてありますが、ボックスのことにしても本との出会いを大切にしたい提案だと思いますので、ますます委員さんが出された意見が発展していくことを願っています。

他に無いようでしたら、進行を事務局の方へお返しします。ご協力どうもありがとうございました。

事務局： 以上を持ちまして、令和2年度第2回の図書館協議会を終了させていただきます。

年 月 日

議長

署名人

署名人